

カナダの金融市場動向 Weekly Report

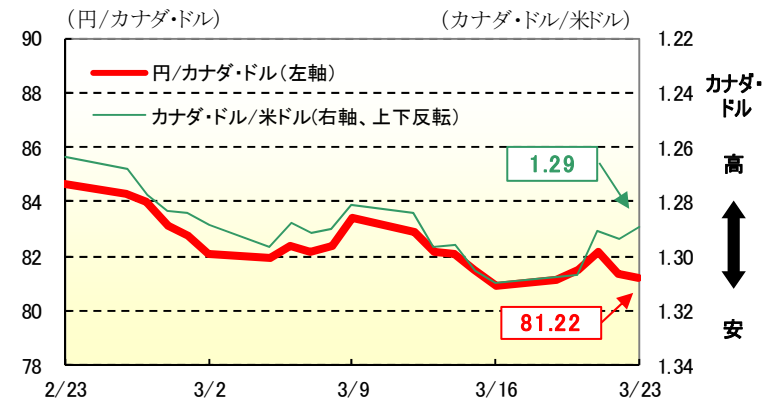
【2018年3月17日～2018年3月23日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円やカナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週は、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉について、自動車分野で米国が態度を軟化させ一部の要求を取り下げる可能性があると報じられたことなどにより、カナダの金利やカナダ・ドルの上昇圧力が高まりました。また、CPI(消費者物価指数)が発表され、前年比で2.2%と市場予想を上回る堅調な結果となったことも、市場の利上げ期待を高め、金利やカナダ・ドルの上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年2月23日～2018年3月23日)



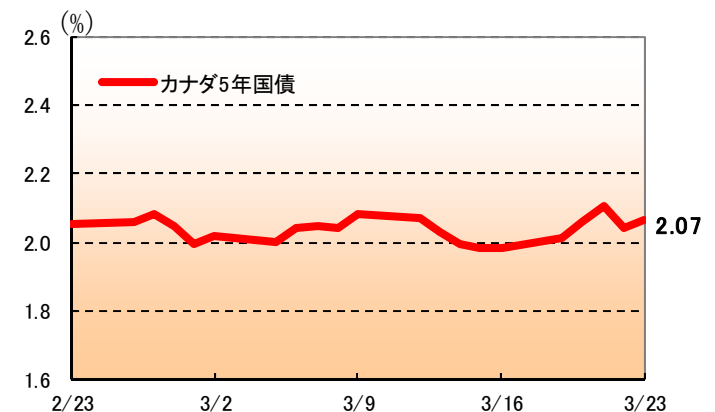
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダでは月次GDP(国内総生産)の発表があります。前月比ではほぼ横ばいが予想されていますが、堅調な結果となった場合には、利上げ期待が高まり、金利やカナダ・ドルの上昇圧力になるとみえています。

一方、足元では米国が中国による知的財産権侵害への制裁措置として中国からの輸入品への追加関税や中国企業による対米投資の制限を発表するなど、米中通商関係の緊張が高まっています。そのため、市場のリスク回避的な姿勢が強まり、円高や金利低下圧力が高まりやすい環境にあるとみえています。

【カナダ 金利推移】 (2018年2月23日～2018年3月23日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>